

神田さくら館避難所運営協議会

地区防災計画



令和5年2月

目 次

1 地区の概要 1

(1) 地区の範囲

(2) 地区の地形、社会特性、今後想定される主な災害

【参考-1】 千代田区洪水ハザードマップ

【参考-2】 千代田区地震「災害情報マップ」

2 防災活動 5

(1) 活動目標

(2) 活動体制

(3) 平常時における防災活動

(4) 災害時における防災活動

(5) 中・長期的な活動予定

3 防災関係施設 9

■地区に関係がある主要な近傍施設等

4 神田さくら館避難所の概要と主な備蓄リスト 10

■概 要

■主な備蓄リスト

5 地区防災マップ 11

【参考-3】 千代田区地域配備消火器（神田さくら館避難所区域内）

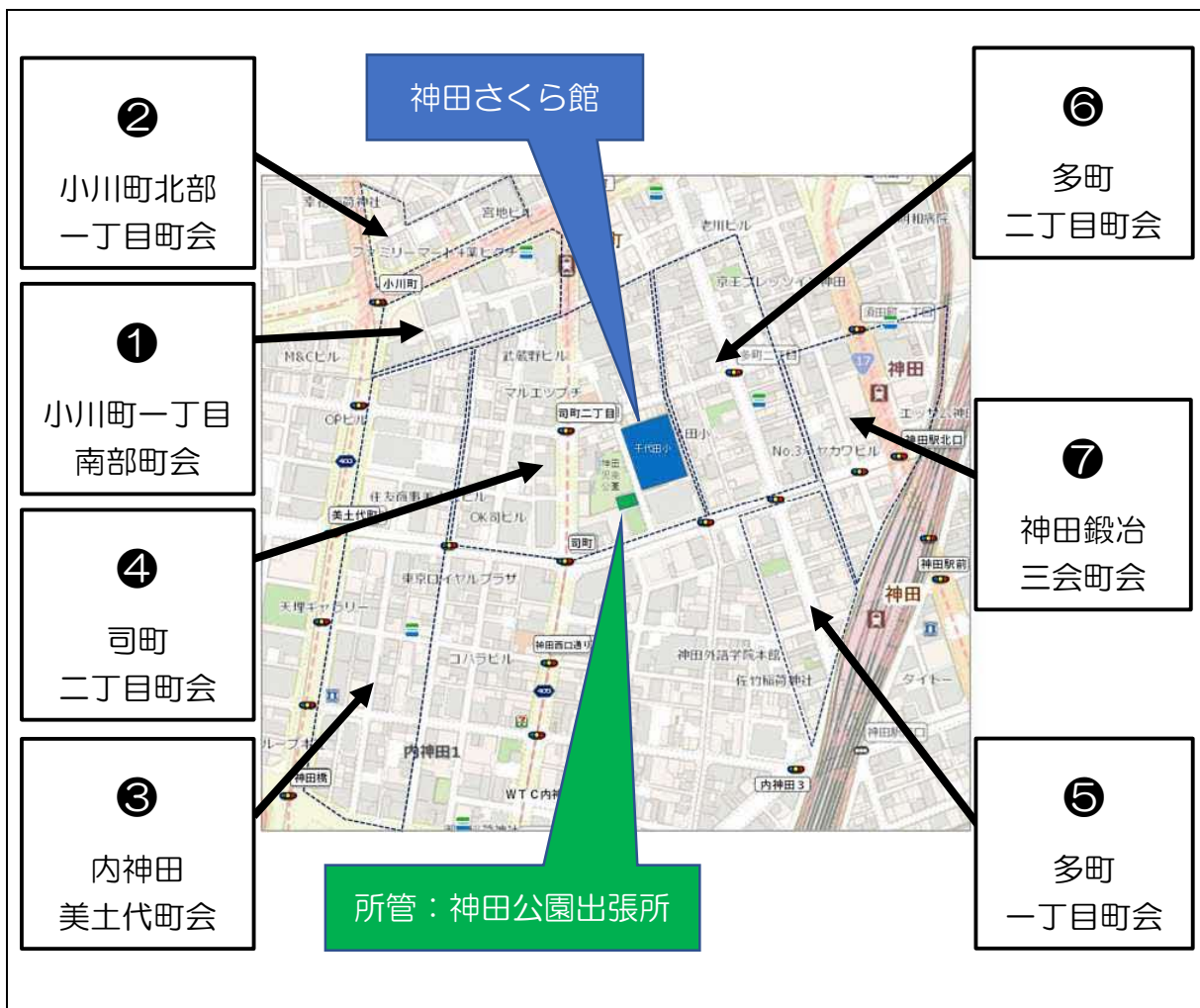
【参考-4】 AED設置場所（神田さくら館避難所区域内）

HP 掲載の都合上、避難所運営協議会委員に配付したものと一部内容を変更しております。（防災マップの写真の有無等）


1 地区の概要

(1) 地区の範囲

No.	町会名	住所
①	小川町一丁目南部町会	神田小川町一1～11までの奇数番地
②	小川町北部一丁目町会	神田小川町一2～10までの偶数番地
③	内神田美土代町会	神田美土代町、内神田一2～4・12～15
④	司町二丁目町会	神田司町二
⑤	多町一丁目町会	内神田三7・12・13・14・17・18・22・23
⑥	多町二丁目町会	神田多町二
⑦	神田鍛冶三会町会	神田鍛冶町三、内神田三19～21



(2) 地区の地形、社会特性、今後想定される主な災害

人 口	約 2,500 人	世帯数	約 1,650 世帯
地区の地形	千代田区の北東側に位置し、北に神田川、南に日本橋川の河川が東西に走る。交通網は、北に靖国通り、西に本郷通り、東にJR山手線・中央線が走る等、地区を囲むように大動脈が走る。		
社会特性	歴史的にコミュニティのつながりとエネルギーに満ちた街であり、近隣には大学等も多く、和と文化、新と旧が交わった多彩な地区である。近年、高齢者のひとり暮らし・高齢者のみの世帯数が増加傾向にある。		
今後 想定 され る 主 な 災 害	区分	想 定	対 策
	豪 雨 災 害	<ul style="list-style-type: none"> ■近年、集中豪雨や台風による災害は多発している。また、市街化の進行により雨水が地下に浸透しにくくなり、短時間に川に集中し流れ込む傾向がある。 ■神田川、日本橋川等が大雨によって増水し、河川の氾濫(外水氾濫)や既存の下水道施設や河川の処理能力を超えて水が溢れて浸水(内水氾濫)する可能性は否定できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■日頃から洪水ハザードマップをよく確認しておく。 ■テレビやSNS等から災害情報を早期且つ継続的に収集する。 ■自宅での避難が困難な場合は、自主避難所(神田公園出張所)に避難する。(災害の規模によっては、避難所も開設する可能性あり)
	地 震 災 害	<ul style="list-style-type: none"> ■「東京湾北部地震(M7.3)」の場合、震度は6強となることが予測され、建物の老朽化が進み、損壊リスクがある中小ビルや民家もあることから、損壊した場合、人的被害や火災発生による延焼被害が起こる可能性がある。 ■地区内での液状化現象による被害は否定できない。 ■近傍にJR神田駅等があり、帰宅困難者が大量に発生した場合は、避難所の開設・運営に影響が出る考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■日頃から、「災害情報マップ」を、よく確認しておく。 ■発災時は、迅速な「安全確保行動」を行い、自ら命を守る。  <p>《提供》効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自宅等での避難が困難な場合は、避難所(神田さくら館)に避難するとともに、避難所の開設・運営等に、積極的に協力する。
	そ 他	<ul style="list-style-type: none"> ■一般的な火災や大規模事故 	<ul style="list-style-type: none"> ■日頃から出火防止に努める。 ■初期消火の準備・訓練を行う。

【参考-1】千代田区洪水ハザードマップ

<p>神 田 川 版</p>		<p>垂直避難</p> <p>神田川・日本橋川は水位の上昇が早く、浸水してから数時間で水が引くことが想定されますので、頑強な2階以上の自宅・建物・避難所へ避難しましょう。</p>										
<p>荒 川 版</p>		<p>地区内外で浸水する可能性がある。</p> <p>浸水継続時間が長期にわたるため、浸水想定区域外へ水平避難をしましょう。</p>										
<p>高 潮 版</p>		<p>想定される浸水深（ランク区分）と目安</p> <table border="1"> <tr> <td>5.0m</td> <td>2階の軒下までつかる程度</td> </tr> <tr> <td>3.0m</td> <td>2階の床までつかる程度</td> </tr> <tr> <td>2.0m</td> <td>1階の軒下までつかる程度</td> </tr> <tr> <td>1.0m</td> <td>大人の腰までつかる程度</td> </tr> <tr> <td>0.5m</td> <td>1階の床高、屋外で大人の膝までつかる程度</td> </tr> </table> <p>凡例</p> <p>浸水深（想定最大規模）</p> <ul style="list-style-type: none"> 5m以上の区域 3m以上 5m未満の区域 2m以上 3m未満の区域 1m以上 2m未満の区域 0.5m以上 1m未満の区域 0.1m以上 0.5m未満の区域 <p>① 避難所 ② 区役所 ③ 区役所出張所</p>	5.0m	2階の軒下までつかる程度	3.0m	2階の床までつかる程度	2.0m	1階の軒下までつかる程度	1.0m	大人の腰までつかる程度	0.5m	1階の床高、屋外で大人の膝までつかる程度
5.0m	2階の軒下までつかる程度											
3.0m	2階の床までつかる程度											
2.0m	1階の軒下までつかる程度											
1.0m	大人の腰までつかる程度											
0.5m	1階の床高、屋外で大人の膝までつかる程度											
<p>備 考</p>	<p>【出典：千代田区HP＞暮らし・手続き＞防災】 風水害ハザードマップ</p>											

【参考—2】千代田区地震「災害情報マップ」



備考

【出典：千代田区HP>暮らし・手続き>防災】
防災関係リンク集>災害情報マップ（千代田区）

2 防災活動

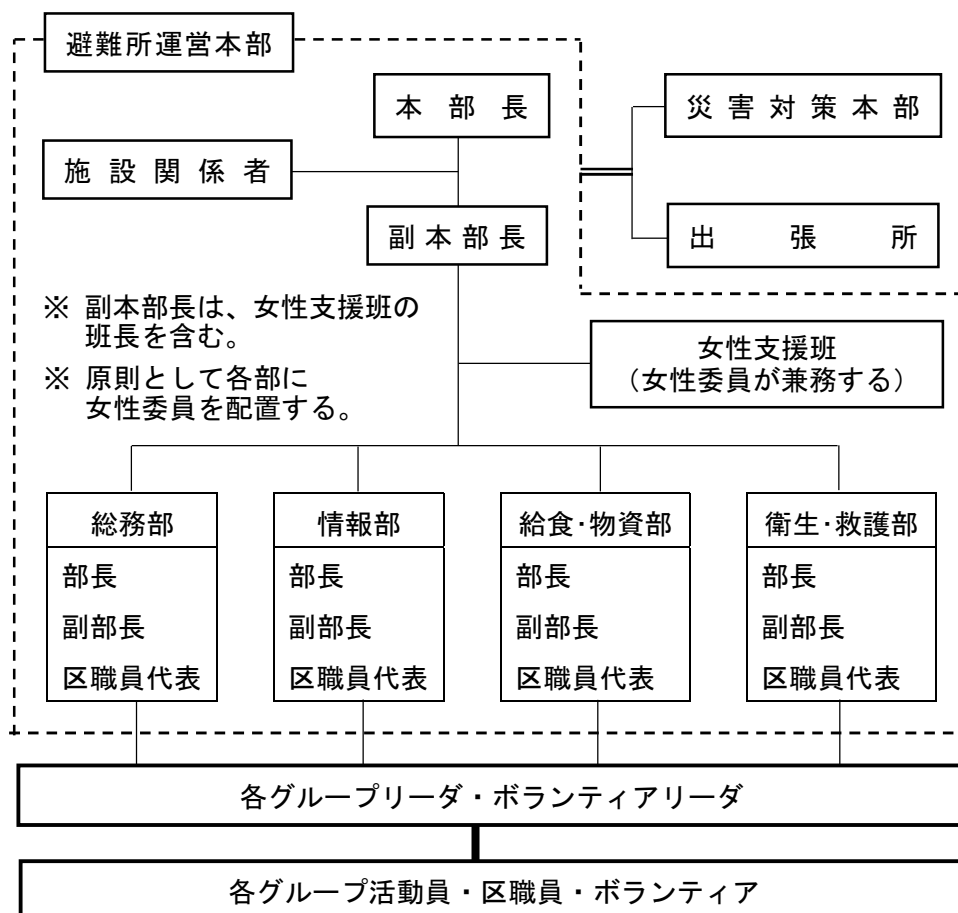
(1) 活動目標

地域防災力向上のため、毎年、防災訓練を実施し、有事の際には、神田さくら館避難所運営協議会が中心となって地域住民の安全を確保する。

(2) 活動体制

避難所運営協議会
大震災による被災後、避難所は被災者の生活の場となる。そのため、避難所としての役割を十分に果たす必要性から、地元町会、施設管理者、区職員の三者が、ルール等の検討や確認のため話し合う場が「避難所運営協議会」であり、災害時には「避難所運営本部」としての機能を果たす。

組織図



(3) 平常時における防災活動

項目	具体的な内容	実施予定時期	
①避難所運営協議会	区（災害対策・危機管理課）との継続的な調整により、避難所運営協議会を行う。協議会においては、地区の防災に係る事項について広く話し合うとともに、特に、防災訓練と地区防災計画に係る事項について重視して協議する。	毎年1回以上 8～9月頃	
②避難所防災訓練	区（災害対策・危機管理課）との継続的な調整により、避難所防災訓練を行う。 訓練では、知識を得るための講座や、避難所の開設・運営を学び、実際の物・場所で訓練する図上や実動形式を織り交ぜる等、創意工夫した訓練に努める。	毎年1回 10～11月頃	
	【避難所防災訓練のメニュー】		
	防災講座	図上訓練	実動訓練
	防災の基礎知識や避難所運営の基礎的事項等に関する講義	実際の避難所図面等を使用した千代田区版ゲーム方式による図上での模擬訓練	避難所の現地現物等の活用による実動ローテーション方式等での模擬訓練
			
③防災知識の普及及び啓発	地区防災計画の配布・啓発を行う。 防災訓練等への参加啓発を行う。この際、訓練参加未経験者への啓発を重視する。	年を通じ実施	
④地区の安全点検	地区内の危険箇所や防災に係る施設の経年変化等を確認・把握するとともに、「地区防災マップ」の更新を行う。	年を通じ実施	
⑤その他			

(4) 災害時における防災活動

【神田さくら館避難所の主な役割】		
①避難者の把握・避難者名簿の作成		
②備蓄物資・義援物資の配布		
③炊き出し等の給食・給水活動		
④災害対策本部との連絡調整		
⑤状況に応じた地元住民の安否確認等の情報の収集及び提供		
【避難所運営本部の基本的な活動内容】		
総務部	①避難者名簿・カードの整理・管理	
	②避難所内の環境整備	
	③生活ルールづくり	
	④避難所の被害調査と復旧対策	
	⑤ボランティアとの連携・調整	
情報部	①災害対策本部への避難所運営状況の報告	
	②避難者への情報提供	
	③災害時優先電話（災害時特設公衆電話）の設置等	
	④電話対応	
	⑤マスクミからの取材対応等	
給食・物資部	①備蓄物資の配給	
	②物資の要請	
	③炊き出し等の食料配給体制	
	④救援物資の受入・管理等	
	⑤各部への資器材の提供	
	⑥炊き出し・食料配給時の留意事項等	
衛生・救護部	①トイレの利用と衛生管理	
	②避難所の衛生管理	
	③避難者の健康管理	
	④要配慮者等への支援	
備考	詳細は、避難所運営マニュアルを確認して下さい。	

(5) 中・長期的な活動予定

項 目	内 容	予 定
①防災の担い手の育成	地域防災力向上のため、地域住民へ防災士資格取得を促す。	年を通じ実施 【目 標】 毎年1名程度 の資格取得
②防災訓練への積極的な参加	これまで参加経験のない地区住民に防災訓練へ積極的に参加してもらい、地区の防災力を向上させる。	年を通じ啓発 【訓 練】 毎年1回 10～11月頃
③地区防災計画の更新	地区防災計画は、経年変化や防災訓練の成果等を得て更新を行い充実させる必要があることから、避難所運営協議会の場を最大限活用して更新を行う。また、区に対し地区防災計画を報告し、区地域防災計画への反映を要望する。	年を通じ実施 【協議会】 毎年1回以上 8～9月頃
④隣接地区との協力・連携	大規模な水害・震災が発生した場合は、隣接地区との協力・連携が重要であることから、区（災害対策・危機管理課）と調整を行いつつ、隣接地区との調整を行う。地区内に所在する企業等に対しても同様とする。	年を通じ区と 調整を継続
⑤その他		

3 防災関係施設（地区に関係がある主要な近傍施設等）

区分	施設名	住所	MCA無線 呼出番号	その他
千代田区	千代田区役所政策経営部 災害対策・危機管理課	九段南 1-2-1	999	AED あり
	神田公園出張所	神田司町 2-2	1 1	AED あり
	神田さくら館	神田司町 2-16	—	AED あり
	■千代田小学校・幼稚園		223、216	AED あり
	■まちかど図書館		—	
	■児童・家庭支援センター		209	
	神田公園地区連合町会長	—	4 4	
	神田さくら館避難所班	—	2 4	
	秋葉原駅周辺地区帰宅困 難者対策地域協力会	—	5 5 4	
警 察	神田警察署	神田錦町 2-2	5 0 4	
消 防	神田消防署	外神田 4-14-3	5 0 8	
	神田消防団			
医療機関	神田医師会		4 0 2	
病 院	日本大学病院	神田駿河台 1-6	4 2 3	
電 気	東京電力EPCO（株） カスタマーセンター東京			0120-995-006
ガ ス	東京ガス（株） お客様センター			0570-002211
上水道	水道局千代田営業所	内神田 2-1-12		03-5298-5351
下水道	下水道局中部下水道事務所	大手町 2-6-3	4 1 5	03-3270-8317
電 話	NTT東日本（総合案内）			1 1 6
鉄 道	JR神田駅	鍛冶町 2-13-1		
	東京メトロ淡路町駅	神田淡路町 1-2		
	東京メトロ神田駅	神田須田町 1-16		
	都営地下鉄小川町駅	神田小川町 1-6		
協定施設 （大学）	日本大学（理工学部）	神田駿河台 1-8-14	6 0 9	
備 考	【出典：千代田区HP＞暮らし・手続き＞防災】 地域防災計画 資料集 資料第3・10他			

4 神田さくら館避難所の概要と主な備蓄リスト

概 要			
名 称	所 在 地	担当出張所	収容可能人数
神田さくら館	神田司町 2-16	神田公園出張所	約 750人
避難想定人数	医療救護所 (4日目以降)	備蓄倉庫	災害時特設 公衆電話台数
約 400人	○	地下1階	5 台

主な備蓄リスト	
【① 食 料 品】	
アルファ化米	缶詰 (肉)
アルファ化米 (粥)	粉ミルク
缶詰 (魚)	ライスクッキー
缶詰 (野菜)	水
【② 生 活 用 品】	
大人用紙おむつ (S、M、L)	子供用紙おむつ (新生児、S、M、L)
女性用生理用品	毛 布
携帯トイレ	マンホールトイレ
【③ 避 難 所 用 品】	
発電機	敷マット
投光器材	ダンボールベット
炊き出し器	ダンボール間仕切り
ワンタッチテント	蓄電池
テント (感染症)	動物用ゲージ (S、M、L)
リヤカー	トランジスタスピーカー (拡声器)

5 地区防災マップ

No.	町 会 名	住 所
①	小川町一丁目南部町会	神田小川町一 1～11 までの奇数番地
②	小川町北部一丁目町会	神田小川町一 2～10 までの偶数番地
③	内神田美土代町会	神田美土代町、内神田一 2～4・12～15
④	司町二丁目町会	神田司町二
⑤	多町一丁目町会	内神田三 7・12・13・14・17・18・22・23
⑥	多町二丁目町会	神田多町二
⑦	神田鍛冶三会町会	神田鍛冶町三、内神田三 19～21

防災マップ 記号 凡例

凡 例	
	: 消火器
	: 消火栓
	: A E D
	: 役立場所
	: 危険場所
	: 注意場所

● : 役立場所

病院、総合防災案内板、防災倉庫、薬局、コンビニ、災害用自販機、災害対策用井戸、防災リヤカー、公衆電話(FREE W i F i)、神田児童公園トイレ、A E D、消火器、消火栓

● : 危険場所

工事中(現場)、ビル(銀行等)の窓ガラス、傾いた電柱、災害時倒木恐れ、エアコン室外機落下、電線(危険)、狭い道路(電線)

● : 注意場所

集合場所、路上の看板・障害物、道路のでこぼこ、街路樹、木造建築物、ビル風、人が集まりやすい

① 小川町一丁目南部町会

- 凡 例
-  : 消火器
 -  : 消火栓
 -  : A E D
 -  : 役立場所
 -  : 危険場所
 -  : 注意場所

ビルの窓ガラス・街路樹・看板

駅近の公衆電話

公衆電話（撤去）
R5.1.29 確認



ビルの窓ガラス

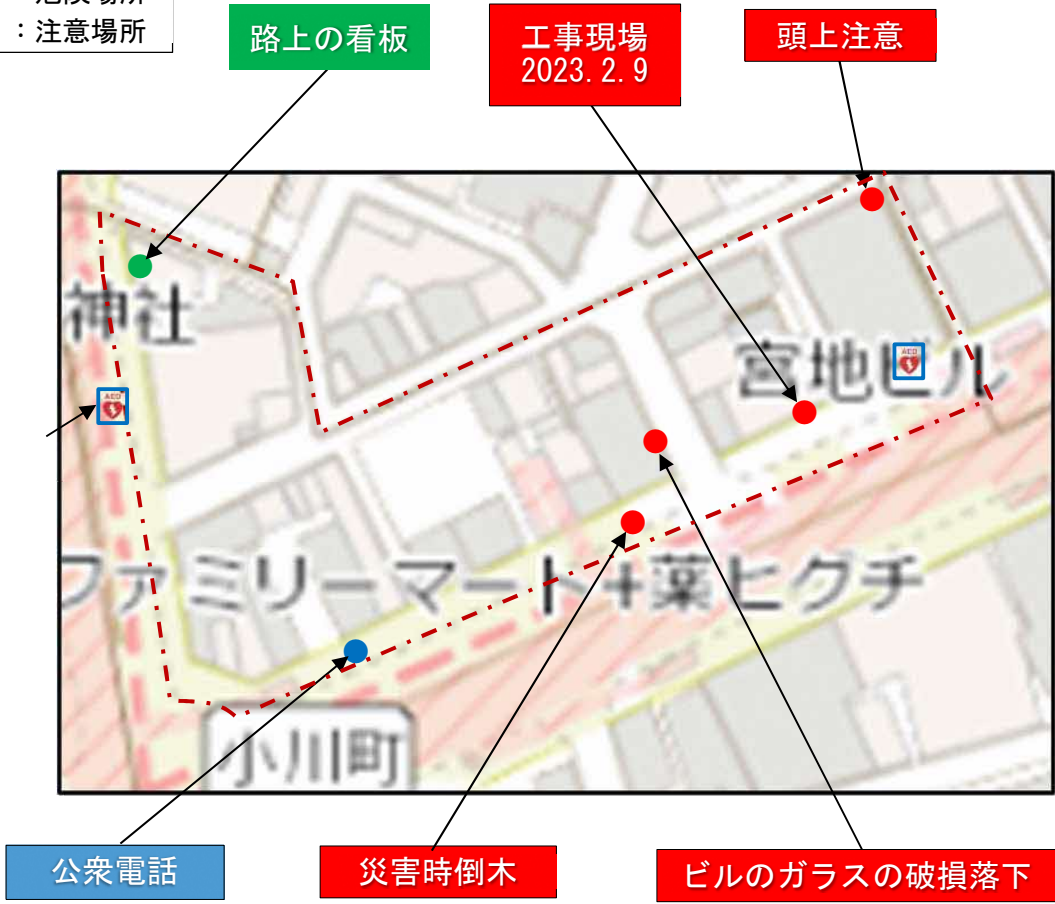
街路樹

路上にある障害物

町会範囲

② 小川町北部一丁目町会

- 凡 例
-  : 消火器
 -  : 消火栓
 -  : A E D
 -  : 役立場所
 -  : 危険場所
 -  : 注意場所

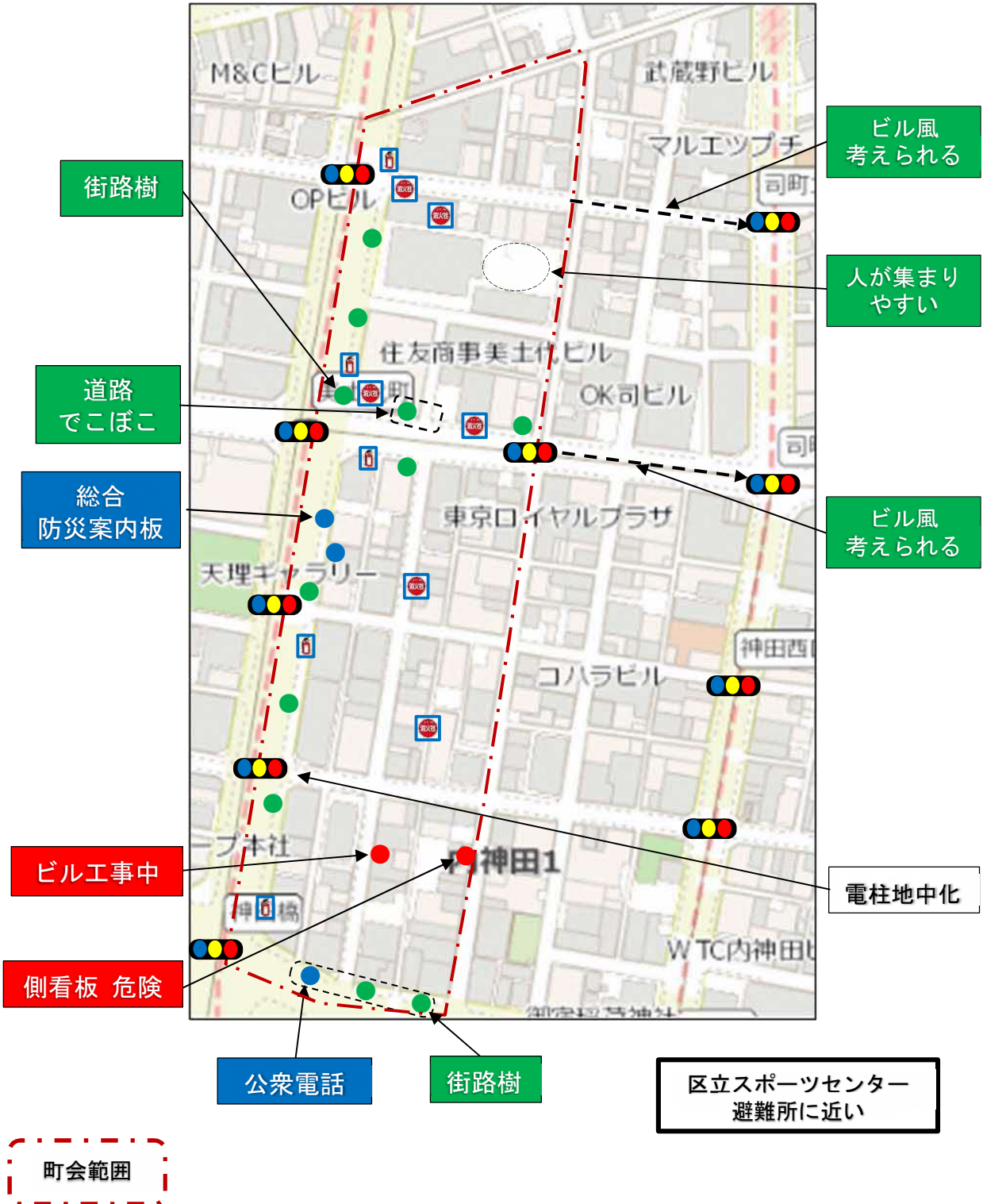


町会範囲

③ 内神田美土代町会

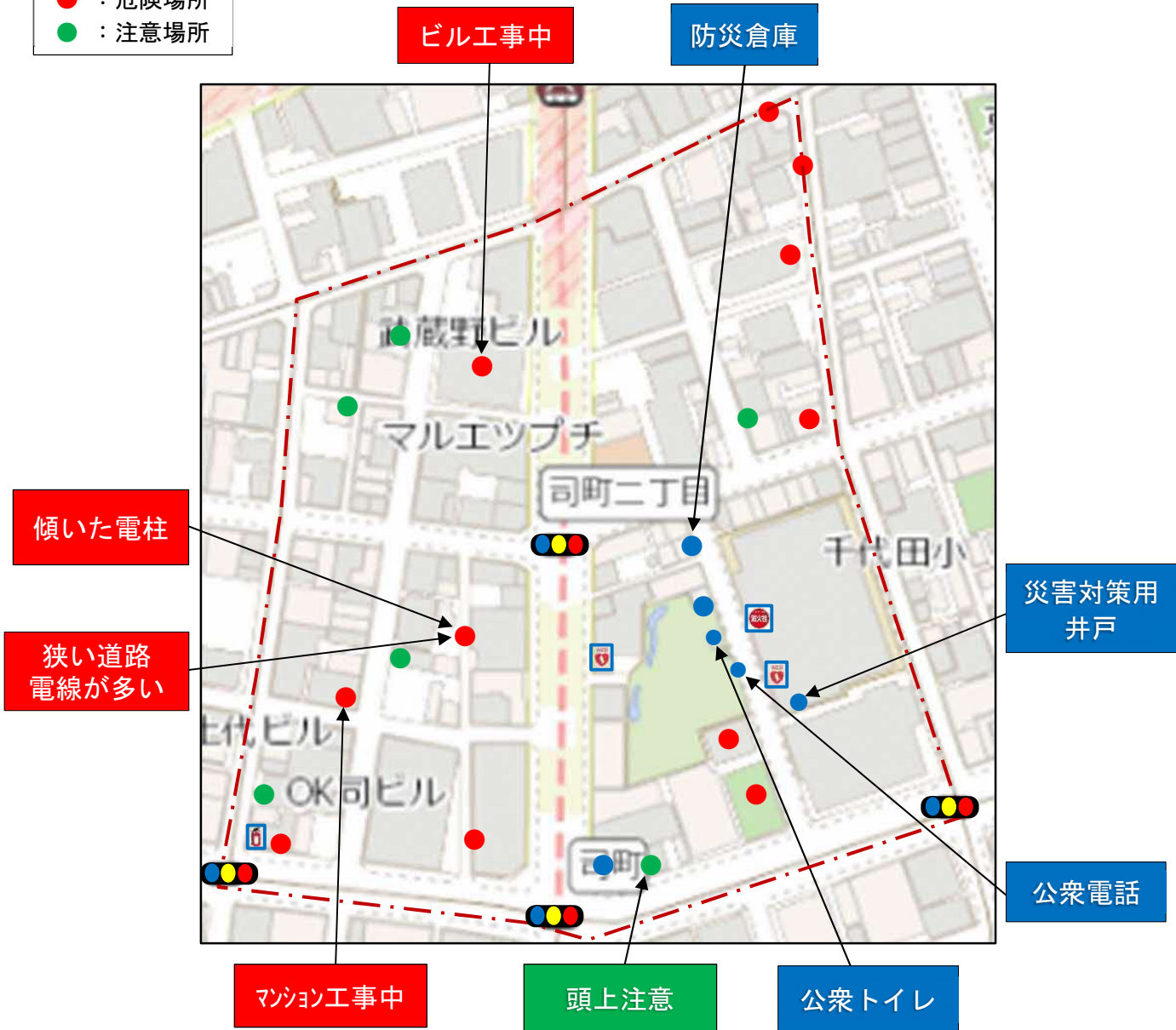
窓ガラス注意

- 凡 例
-  : 消火器
 -  : 消火栓
 -  : A E D
 -  : 役立場所
 -  : 危険場所
 -  : 注意場所



④ 司町二丁目町会

- 凡 例
-  : 消火器
 -  : 消火栓
 -  : A E D
 -  : 役立場所
 -  : 危険場所
 -  : 注意場所



町会範囲

⑤ 多町一丁目町会

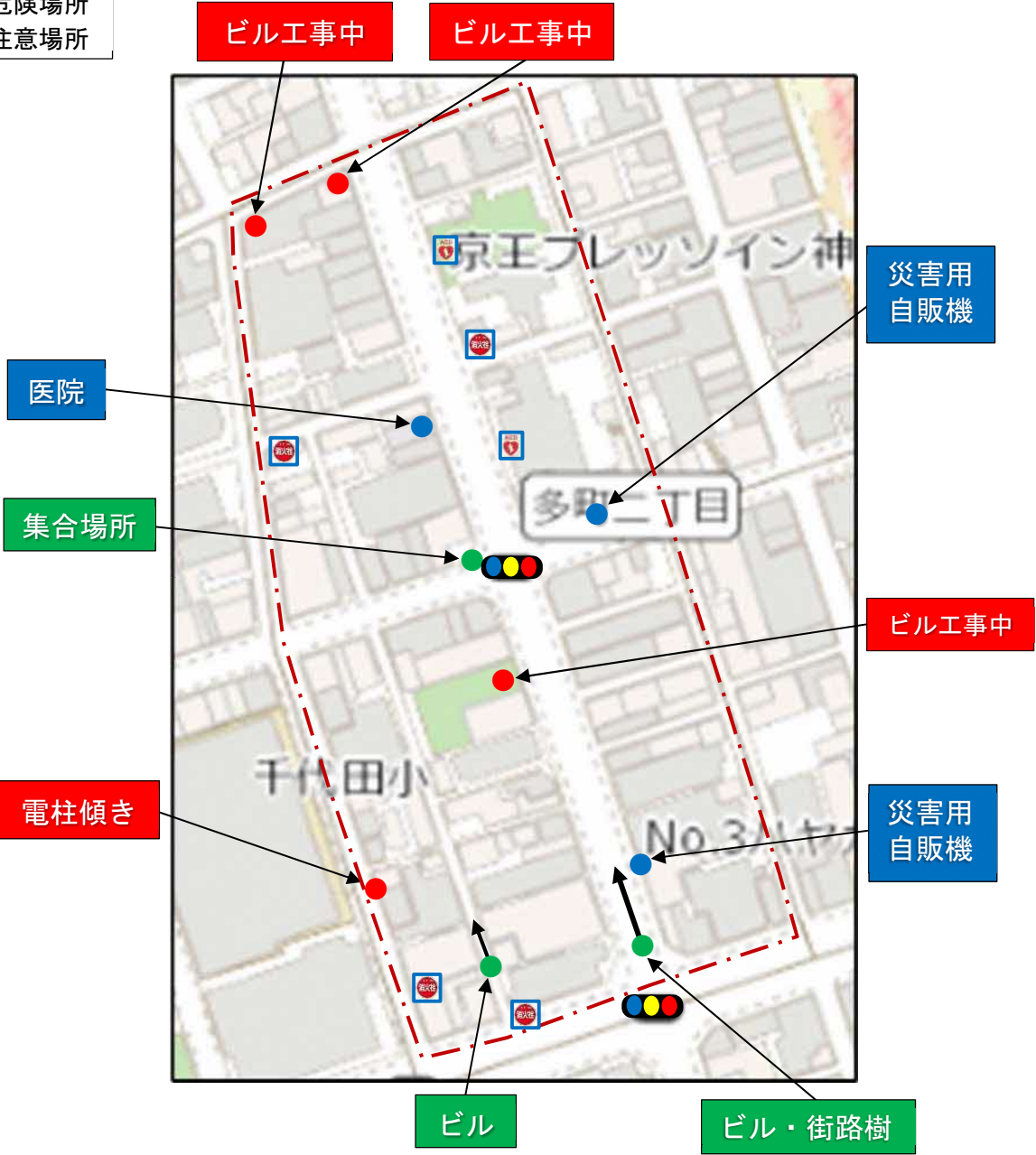
- 凡 例
-  : 消火器
 -  : 消火栓
 -  : A E D
 -  : 役立場所
 -  : 危険場所
 -  : 注意場所



町会範囲

⑥ 多町二丁目町会

- 凡 例
-  : 消火器
 -  : 消火栓
 -  : A E D
 -  : 役立場所
 -  : 危険場所
 -  : 注意場所



町会範囲

⑦ 神田鍛冶三会町会

- 凡 例
-  : 消火器
 -  : 消火栓
 -  : A E D
 -  : 役立場所
 -  : 危険場所
 -  : 注意場所



【参考—3】千代田区地域配備消火器（神田さくら館避難所区域内）

千代田区は火災における初期消火のために、地域配備消火器を道路上や建物の壁などに約520本設置しています。赤い格納箱とシルバーの格納箱の2種類があります。



★：消火器配置位置



【参考—4】AED設置場所（神田さくら館避難所区域内）

👤 : 民間 🏢 : 行政

日本 AED 財団資料 AEDN@VI

